R7 福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 1. **【講義】主任相談支援専門員の役割と視点**
 | 受講日 | **令和７年７月２日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 障害者相談支援事業における主任相談支援専門員創設の経緯を説明できる。
 |  |  |  |
| 1. 基幹相談支援センターと主任相談支援専門員の役割と責務について説明できる。
 |  |  |  |
| 1. 人材育成におけるスーパービジョンに求められていることが説明できる。
 |  |  |  |
| 1. 主任相談支援専門員に求められている地域づくりについて説明できる。
 |  |  |  |
| 1. 運営と経営のバランスを保ちながら、計画性のある事業所管理について説明できる。
 |  |  |  |

10　　 ９ 　　８ 　　７ 　　６　　 ５ 　　４ 　　３ 　　２ 　　１

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

R7 福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **②　【講義】障がい福祉の動向**  | 受講日 | **令和７年７月２日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| １．障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法等に関する最新の動向、その他関連する制度等を理解し、説明できる。 |  |  |  |
|  | ①障害者総合支援法及び児童福祉法等の改正等の状況について説明できる。 |  |  |  |
| ②障害者福祉施策に関する最新の動向について説明することができる。（相談支援事業、障害児支援、就労支援、発達障害者支援、障害福祉計画、権利擁護・虐待防止等障害福祉サービス等報酬改定等） |  |  |  |
| ③障害福祉関係施策の最新の動向について説明することができる。（児童福祉、高齢福祉、生活困窮者支援、地域共生社会の実現に向けた施策等） |  |  |  |
| ２．最新の知識の獲得に加え、日常的に最新の情報を得られるようにする姿勢の重要性を確認し、研修における自らの知識の再構築（概念化）を行うことができる。 |  |  |  |

10 　　９ 　　８ 　　７ 　　６　　 ５ 　　４ 　　３ 　　２ 　　１

←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できない→

R7 福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **③　【講義】相談支援事業所における運営管理** | 受講日 | **令和７年７月２日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①利用者中心の福祉サービス提供のためのリスクマネジメントの必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ②利用者中心の福祉サービス提供のためのコンプライアンスの必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ③利用者中心の福祉サービス提供のための組織運営管理の必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ④計画的な人材育成と人材確保の必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ⑤災害時への対応の必要性について説明できる。 |  |  |  |

10　　 ９ 　　８　　 ７　　６　　 ５ 　　４ 　　３　　 ２ 　　１

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

R7 福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **④　【講義】人材育成の意義と必要性** | 受講日 | **令和７年７月３日** |

氏 　名：

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自

らの理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| １．相談支援専門員に必要な能力並びにそれを段階的に獲得及び高めていくための人材育成の必要性について説明することができる。 |  |  |  |
|  | 1. 相談支援の目的を再確認し、その目的達成（業務遂行）のために必要な力とは何かを説明できる。
 |  |  |  |
| 1. なぜ、教育や学習（学び）の理論について、社会福祉の実践者が学ぶ必要があるかについて説明することができる。
 |  |  |  |
| 1. 相談支援専門員の人材育成体系とその留意点について説明することができる。
 |  |  |  |
| 1. 相談支援における人材育成に携わる者として必要な学びの基礎理論とその概要について説明することができる。
 |  |  |  |
| ２．事業所内や地域における効果的な実地教育のあり方について説明することができる。 |  |  |  |
|  | 1. 主任相談支援専門員として具体的に行う人材育成に関する業務について説明することができる。
 |  |  |  |
| 1. 相談支援専門員の人材育成にあたっては、体制整備と連動性が必要であることについて説明することができる。
 |  |  |  |

10 　　９ 　　８ 　　７　　 ６ 　　５ 　　４　　３ 　　２ 　　１

←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

R7 福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑤　【講義・演習】人材育成の地域での展開** | 受講日 | **令和７年７月３日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自

らの理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| １．圏域（地域）でのＯＪＴについて①フィールドメンタリング②主任としてのアウトリーチ③コンサルテーション上記の必要性が説明できる。 |  |  |  |
| ２．サービス等利用計画の評価サービス等利用計画（計画相談）の質の向上に向けた個別のスーパービジョンの実践方法が説明できる。 |  |  |  |
| ３．事例検討とスーパービジョンについて1. 個別課題から地域課題への転換
2. グループスーパービジョンと事例検討
3. 地域の相談支援専門員のﾊﾞｰﾝｱｳﾄ対策

④ 地域の相談支援専門員のﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝ対策上記の必要性が説明できる。 |  |  |  |
| ４．地域住民や他機関を巻き込んだ研修について①スーパービジョンから提供された地域連携の実践②地域作りに向けた研修企画・運営上記の実践の必要性が説明できる。 |  |  |  |

10 　　９　　 ８　　 ７　　 ６ 　　５　　 ４　　 ３　　 ２　　 １

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

R7　福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑥　【講義・演習】研修・グループワークの運営方法** | 受講日 | **令和７年７月３日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自

らの理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| １．ファシリテーション技術について1. 安全な場作りと情報の発散の技術
2. 情報の収束と合意形成の技術

について説明できる。 |  |  |  |
| ２．研修・演習の場作りについて1. 研修実施における企画と準備

② 参加者が主体的に学ぶ場つくりの必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ３．カンファレンス（意思決定支援会議）における意見の構造化について①本人の意思を尊重したｶﾝﾌｧﾚﾝｽ②個別事例から協議会への課題をつなげる配慮と準備の必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ４．参加者の関係調整について①　協議会のファシリテーション技術1. 日常の関係性と事前準備

の必要性について説明できる。 |  |  |  |

10 　　９ 　　８ 　　７　　 ６ 　　５ 　　４　　 ３ 　　２ 　　１

←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できない→

R7 福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑦【講義・演習】地域援助技術の考え方と展開技法** | 受講日 | **令和７年７月４日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 主任相談支援専門員として必要な地域援助技術（コミュニティ・ソーシャルワーク）について理解し説明できる。
 |  |  |  |
| 1. 地域支援における協議会運営の機能と運営方法を理解し説明できる。
 |  |  |  |
| 1. 地域住民や地域組織および関係行政機関との関係構築方法を具体的に理解し説明できる。
 |  |  |  |

10　　 ９ 　　８　　 ７　　 ６　　 ５　　 ４ 　　３ 　　２　　 １

←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できない→

R7　福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑧【講義・演習】地域援助の具体的展開Ⅰ・Ⅱ** | 受講日 | **令和７年７月４日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ① 地域の課題や取り組み状況について説明できる。 |  |  |  |
| ② 地域課題の解決に向けて、主任相談支援専門員として、協議会運営の方法や工夫を提案できる。 |  |  |  |
| ③ 地域課題の解決に向けて、主任相談支援専門員として、地域住民や関係機関との関係構築方法について、提案できる。 |  |  |  |

10　　 ９ 　　８　　 ７　　 ６ 　　５ 　　４　　 ３ 　　２　　 １

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

R7　福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑨　【講義】スーパービジョンの理論と実際** | 受講日 | **令和７年７月１０日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ① スーパービジョンの基本的な考え方について説明できる。 |  |  |  |
| ② スーパービジョンの類型とその特徴について説明できる。 |  |  |  |
| ③ スーパービジョンの類型による展開の特徴が説明できる。 |  |  |  |
| ④ グループスーパービジョンの特徴について説明できる。 |  |  |  |
| ⑤ グループスーパービジョンの展開について説明できる。 |  |  |  |

10　　 ９ 　　８ 　　７　　 ６　　 ５ 　　４ 　　３　　 ２ 　　１

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員　養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑩【講義・演習】****スーパービジョンによる相談支援専門員支援****（個別スーパービジョン、グループ・スーパービジョン）** | 受講日 | **令和７年７月１０日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①相談援助職に必要となるスーパービジョンについて説明できる。 |  |  |  |
| ②コンサルテーション（経験則でのアドバイス）とスーパービジョンの違いが説明できる。 |  |  |  |
| ③自己の実践を検証し、他者からの視点が入ることで支援の質が向上することを理解する。 |  |  |  |
| ④スーパービジョンでの新たな気づきを、必ず実践に反映、応用することが重要なことを理解する。 |  |  |  |
| ⑤ストレングス（生きる力の源）を活用した支援について理解する。 |  |  |  |
| ⑥福祉サービス以外の資源（ありふれた資源）も活用した支援の必要性を説明できる。 |  |  |  |
| ⑦スーパービジョンを単なる研修としての位置付けではなく、実務に反映する必要性を理解できる。 |  |  |  |

10 　　９ 　　８ 　　７ 　　６ 　　５ 　　４　　 ３　　 ２ 　　１

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→R7　福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | **⑪【講義・演習】多職種協働（チームアプローチ）の考え方と展開方法** | 受講日 | **令和７年７月１１日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①多職種協働（チームアプローチ）の考え方について説明できる。 |  |  |  |
| ②多職種協働（チームアプローチ）に必要とされる力について説明できる。 |  |  |  |
| ③多職種協働（チームアプローチ）に必要とされる知識について説明できる。 |  |  |  |
| ④多職種協働（チームアプローチ）に必要な技術について説明できる。 |  |  |  |
| ⑤多職種協働（チームアプローチ）の効果的な展開方法について説明できる。 |  |  |  |
| ⑥多職種協働（チームアプローチ）の効果的な展開方法についてポイントが整理できる。 |  |  |  |
| ⑦多職種協働（チームアプローチ）の効果的な展開ができる。 |  |  |  |

10 　　９ 　　８　　 ７　　 ６　　 ５　　 ４　　 ３ 　　２ 　　１

←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できない→

R7　福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 1. **【講義】基幹相談支援センターにおける地域連携**
 | 受講日 | **令和７年７月１１日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①基幹相談支援センターの設置経緯、設置状況、運営形態を理解する。 |  |  |  |
| ②基幹相談支援センターの役割（総合的・専門的な相談支援）について理解する。 |  |  |  |
| ③基幹相談支援センターの役割（地域の相談支援体制の強化）について理解する。 |  |  |  |
| ④基幹相談支援センターの役割（地域移行・地域定着の促進）について理解する。 |  |  |  |
| ⑤基幹相談支援センターの役割（権利擁護・虐待の防止）について理解する。 |  |  |  |
| ⑥協議会の運営と活用について理解する。 |  |  |  |
| ⑦基幹相談支援センター及び主任相談支援専門員の役割と機能を説明できる。 |  |  |  |

10　　 ９　　 ８ 　　７ 　　６ 　　５ 　　４ 　　３　　 ２ 　　１

←できる 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

R7　福島県障がい者相談支援従事者主任相談支援専門員養成研修 振り返り・評価シート（科目別）

事業所名：

氏 　名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 1. **【講義】地域共生社会の実現**
 | 受講日 | **令和７年７月１１日** |

本シートは、主任相談支援専門員養成研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自ら

の理解度を可視的に捉えるものです。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10 段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①権利条約の理念の実現と地域共生社会の関係を理解する。 |  |  |  |
| ②地域共生社会の実現に向けた主任相談支援専門員の使命を理解する。 |  |  |  |
| ③基幹相談支援センターが包括的相談支援体制の構築に果たす役割について理解する。 |  |  |  |
| ④主任相談支援専門員が行う地域づくりの意義について具体的に理解する。 |  |  |  |

10 　　９　　 ８ 　　７ 　　６ 　　５　　 ４ 　　３ 　　２ 　　１

←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できない→